

(平成 22 年 5 月掲載)

第 14 話「ノンアセットという言葉」

私が佐川グローバルロジスティクス株式会社(当時は佐川物流株式会社)へ転職して来たのは 7 年前であるが、当時の社長さんから『当社はノンアセット型の 3 P L 事業者でして…』とご説明を受けた。

今更ノンアセットの説明も必要ないかと思うが、要するに施設を持たない 3 P L 事業者ということである。

社長さんは、自慢げに言うのではなく、資産が乏しいから倉庫も借り物、本社も借り物という意味で私に説明してくれた感じに受け取った。

しかし、私は常々”物流加工事業”などという仕事で、自前で輸送手段を持つとか、倉庫を持つとか、機器を揃えるとか、要するに何かを持ってしまうことを極力嫌っていた。

その理由は簡単である。その商売に何十年という保障が無いからである。食品も衣類も家具も家電も、あらゆる物が形を変えずに永遠に売れ続けるものではない。商品は形を変えて、生産拠点を变えて、販売地域を変えて、輸送方法を変えて、保管方法を変えて、変化を続けて行くのである。だから倉庫などを建ててしまったら、移転も出来ないのである。

客から言われたら、言われた場所で、希望された通りの仕事をするのだ。借り物の倉庫だから坪単価も明解であり、人件費も電気代も水道代も明解である。

これを国家的見地から言うと、港湾も空港も道路も駅も、作ったら移転はできず、使わなくても維持費が掛かり、それは国民の税金で購うことになるのである。